

# 家畜衛生だより

平成27年6月号

紀北家畜保健衛生所

TEL 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

TEL 0739-47-0974

東牟婁支所

TEL 0735-58-1481

## 注意！！牛白血病が日本中で発生しています

### 1. どんな病気？

最近特に問題になっている牛のウイルス病として、牛白血病があります。日本中に蔓延しており、発症すると牛の体中に腫瘍ができて死んでしまう伝染病です。

また、外見では異常がない牛でも、と畜場で牛白血病と診断されるとその肉は廃棄されるので経営へ大ダメージとなります。そのため、和牛子牛や交雑種子牛を購入してくれた方へ迷惑をかけることになりかねません。

### 2. どうやって伝染するの？

牛白血病ウイルスは、少量の血液や乳汁で伝染します。そして、感染した牛は生涯感染源になってしまいます。

### 3. 治るの？

ワクチンや治療法はありません。

### 4. 検査方法は？

採血し、エライザという抗体検査をします。

できるだけ抗体陰性牛を導入し、導入したら早めに抗体検査を受けましょう。本県では県外から導入した牛が抗体陽性の事例がありました。

牛白血病に感染していても抗体ができるまでには時間がかかるので、1度の検査だけで安心するのではなく、その後も抗体検査を受けて清浄性が保たれていることを確認しましょう。

## 5. 感染が疑われたら？

もしも、検査で抗体陽性と判明した場合は、早期の廃用・淘汰をおすすめします。他の牛に感染が広がれば虚弱な体質の牛ばかりになり、最終的には飼っている牛すべてに感染して淘汰することになってしまいます。

ただし、経営的な理由ですぐに抗体陽性牛を全て淘汰できない場合は、中長期的な視点で計画的に淘汰してください。

## 6. 伝染を防ぐには？

- ・絶対に直腸検査用手袋や注射針は使い回さない。
- ・初乳には初乳製剤を使用する。(冷凍初乳はおすすめしません)
- ・アブやサシバエなどの吸血昆虫対策として、蚊帳や防虫剤を使用する。
- ・感染牛を分離・隔離して飼育する。
- ・自家保留や県内などの地域内保留を行う。(飼養歴が分かる牛を導入)

## 7. 最後に

平成23年頃の全国調査では乳用牛の約40%、繁殖和牛の約30%が抗体陽性であり、その後さらに増加していると考えられ、抗体陽性牛のうち数%が発症します。

そのため平成27年4月、国は「具体的な感染拡大防止策を定めたガイドライン」を作成しました。

また、平成27年4月、家畜共済の事務取扱要領が改正され、と畜場で牛白血病のため廃棄となった場合を共済金の支払い対象とすることになりました。ただし、牛白血病感染拡大防止措置を実施していなければ、共済金の4割が免責です。※くわしくは各農業共済組合へお問い合わせ下さい。

県内で牛を飼育されている皆様の将来的な経営を守るため、牛白血病対策を積極的に実行していただきますようお願いします。

その他ご質問等がありましたら、最寄りの家畜保健衛生所にお尋ねください。